



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

# 山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともそう

- ◆点鐘：小林 恵一 会長
- ◆ロータリーソング：四つのテスト
- ◆司会：新藤 幸紀 S.A.A.
- ◆会場：千歳館



Yamagata West Rotary

第2834回例会

平成31年1月21日(月)

## 会長挨拶

小林 恵一 会長



年が改まり7日に続く例会ですが、今日が初めての方もいらっしゃると思います。改めまして、新年おめでとうございます。

そして、皆様のお力添えとご協力のおかげを持ちまして、本年度も任期の半分を恙なく乗り越えることが出来ました。菅原幹事とともに感謝を申し上げますと存じます。とは申せ、まだまだゴールは遙か遠く道半ばです。引き

続き最後までご支援の程、宜しくお願い致します。

皆さん年始の挨拶廻りもそろそろ終わられた頃と推察致しますが、私も先週末までに東京を最後にひと通り済ませて来たところです。主に取引先や業界関係者と言葉を交わして参りました。

私ども業界は、平成の30年間で製造や販売面でデジタル化が大きく進展した一方、昨年末の通信障害により、そのリスクが表面化したことが一つ話題になっておりました。また、自然災害が多発し政府の要請による食料支援で缶詰やレトルト食品が大きく貢献したこと。サバ缶、イワシ缶、グルメ缶詰が人気で原料高や流通費の高騰はあるもののよく売れたこと。技術者育成とHACCP支援により品質向上と安全・安心の強化、消費者向けの情報発信等を継続強化している現状などが主に話題になりました。

これとは別に、日本では子どもの貧困が問題化する一方、大量の食品が廃棄されている食品ロスの問題があります。

日本の年間食品廃棄量は、国内市場に出回った食料約8,300万トンのうちの2,800万トンです。そのうち売れ残りや期限を超えた食品、食べ残しなど、本来食べられたはずの食品ロスが646万トンとされ、これは飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料支援量約320万トン(2015)を大きく上回る約2倍の量です。

ここ数年で、日本各地に子供食堂が次々に出来、その数2,200か所余りになりました。業界は廃棄費用を掛けるより提供して飲んで貰えるならと支援に回っています。私どもの加熱殺菌処理された缶詰やレトルト食品は、安全・安心な食品として、これらの施設で喜ばれています。皆さんの家庭で使われない缶詰やレトルト食品がありましたら施設への提供をお勧めしたいと思います。

昨年秋のロータリーの友に、子供食堂の記事が掲載されていたと思います。

食品ロスの問題を、是非皆さんの頭の隅において頂ければと思います。

本日の挨拶とさせていただきます。

## クラブ協議会



〈会長あいさつ〉  
小林 恵一 会長



〈来賓あいさつ〉  
白田 廣司 ガバナー補佐



〈乾杯〉半田 稔 直前会長



<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (1/21)	96名	57名	修正出席 (12/17)	97名	88名	85名	96.59%
メイクアップされた会員	(山形南) 清野 伸昭、戸田 正宏 (山形東) 伊藤 歩 (山形北) 結城 和生、武田 周二、長澤 裕二、小林 廣之、風間 義朗、大西 章泰、後藤 光政、松原 洋、 清野 伸昭 (山形) 鈴木 隆一						